

## 慟哭の海から非核の海へー

ビキニの水爆実験で被ばくしたのは第五福竜丸だけではなかった！

今から70年前、1954年3月1日マーシャル諸島ビキニ環礁で、なんの予告もせず、アメリカは水爆実験を行いました。そして、その後も実験は続けられたのです。

その時、ビキニの海で操業していたマグロ船やマーシャル諸島で暮らす大人も子どもたちも被ばくしました。高知のマグロ船も被ばくしました。けれどもその事実は、長い年月封印されました。

その扉を開いたのは高知県の西、幡多で生まれた幡多ゼミナールに結集する高校生と教師たちでした。何度も何度も足を運び、聞き取り調査は行われましたが、マグロ船に乗っていた元乗組員たちの口は重く、語る言葉は少ないものでした。語りた、でも語れない、家族にさえ隠し続けてきた被ばくの事。それでもビキニの海で何があったのか、その事実を知りたい！幡多ゼミナールの高校生と教師たちの真摯な姿は、マグロ船の元乗組員のところを動かし始めるのです。

今、声に出さなければ！！今、語らなければ！！

声なき声に懸命に耳を傾ける高校生たち。この活動は、少しずつひろがり、今は大きなうねりとなっています。

死の灰の降り注いだ海、多くの人、魚が被災しました。この演劇は、慟哭の海から非核の海をめざしていきたい、その思いをこめた演劇です。

## 海からの証の

— 事件の重いとびらをあげた高校生たちがいた —

二〇二四年十一月三〇日(土)

高知県立美術館ホール

①開場十三時三〇分 開演十四時—十六時

②開場十八時 開演十八時三〇分—二〇時三〇分

入場料 前売り 大人 一八〇〇円 学生以下 一〇〇〇円  
当日は各二〇〇円増

主催 劇団 the.創  
共催 太平洋核被災支援センター  
後援 高知県・高知県教育委員会  
高知新聞社 RKC高知放送 高知市文化協会

高知市・高知市教育委員会

昨・演出 西森良子

絵提供 森本忠彦

資料提供 太平洋核被災支援センター  
友情出演 高知センター合唱団